

(仮) 豊田市健康づくり運動プラン（第四次） パブリックコメントの実施結果について

【実施期間】	令和5年8月14日（月）～ 令和5年9月13日（水）
【閲覧場所】	保健部総務課、市政情報コーナー、各支所・出張所、交流館、ホームページ
【提出方法】	持参、郵送、ファックス、電子メール（Eモニター含む）
【提出数】	179人（紙提出0人、電子メール4人、Eモニター175人）
【意見数】	計画素案に対する意見103件（1人の意見に複数項目含まれる場合は分けて整理） その他、Eモニターにて実施したアンケートに対する意見175人

1 計画素案に対して寄せられた意見分類と件数

項目	番号	意見分類	件数
計画全般に関すること	①	計画の推進	4
	②	施策全般	14
	③	市民への周知・啓発	14
分野別の取組等に関すること	④	身体活動・運動の推進	4
	⑤	こころの健康づくりの推進	7
	⑥	栄養・食生活の改善、食育の推進	3
	⑦	飲酒・喫煙・薬物乱用等に関する啓発の推進	2
	⑧	地域等との連携	3
	⑨	支援機関等との連携	3
	⑩	イベント・講座等の開催	6
	⑪	ICTの活用	5
	⑫	特典・インセンティブの付与	4
	⑬	年代別の健康づくり	5
その他	⑭	その他(感想等)	29
合計			103

【意見①】計画の推進 4件

No.	内容
1	評価の判断で、セミナー等の実施回数をあげられており、それも重要だと思いますが、さらに参加人数の比較も入れることが重要だと思います。
2	基本指標1～4の他に介護、医療費の改善、自治区、交流館等の活動状況は把握できませんか？
3	具体的でわかりやすい施策が見えてこない。また、実施については、地域への丸投げ感が強い。
4	具体的な行動の日程感がわからない

⇒ 【意見①】に対する回答

- 指標の設定や計画の推進に当たっては「豊田市地域保健審議会」において実施することとし、具体的な取組、スケジュール等、計画の進捗管理を行うとともに、必要に応じて評価項目の追加・修正等を図っていきます。
- また、地域、ボランティア、民間事業者等が参画する会議体等を立ち上げ、各主体が実施する取組の実践例や課題等を共有するとともに、新たな取組について協議することができる体制を構築していきます。

【意見②】施策全般 14 件

No.	内容
1	重点取組 1 の意識向上はとても大切なと思いますので、個人個人の意識が高まり、それにより自発的に健康について考えられるようになると良いと思いました。
2	資料にもあるように、一人一人が意識を高める事が大切だと思うので、地道に何度も同じ事を繰り返し教育するしかないのだと思います。面倒くさいと思ってしまい、楽な方へ逃げる人の方が多いのが現実です。
3	健康って一言で言えるが、実際は個々の健康意識レベルがどれだけあるかがバロメータとなるのではないのでしょうか。健康づくりプランでさらなる健康意識向上に繋がれば良いことと思う。
4	高齢の方や課題を抱えている人向けの内容が多いようにも思いますので、現在健康向上に取り組んでいる人向けの施策もあるといいなと思います。底上げより活動している人をより高みに引っ張ることで、それらの方がインフルエンサーになって、周りも変わっていくことが期待できると思います。
5	一人暮らしが増えてきていることを勘案すると、個人で取り組む内容が充実していると、誰でも気軽に参加できるので、健康につながると感じました。コミュニケーションをとって楽しく参加することも重要で大切だと思いますが、グループでの参加を条件とすることで、活動をやめてしまっは残念な結果に終わってしまうので…
6	市民の意見が中々反映される機会が少ないので、アンケート調査を通じて幅広く実施して欲しい。
7	関わりやすい取組みになると良いと思います。
8	実施までこぎつける事が大事。どうやったら参加して貰えるか、方法が欲しい。
9	いろいろなプランがあることがわかりました。でも、やはり健康に意識のある人が、結局は、自分からこのプランに興味を持って関わっていくことになるので、興味のない人も自然にこのプランに関わっていけるようにした方がいいと思う。希望する学校とか親子教室とか健康アプリとかでは、結局興味のある人にしか意味がないと思う。
10	健康づくり運動プランは、外部へ委託するのではなく、市役所の担当者が中心になり、ボランティアを募って活動をお願いしたい。外部委託先は、責任や使命感が欠如している事が多く、市民の税金がムダに。外部委託するのではなく、日本有数の高額所得の豊田市職員には、所得に相応の仕事をして貰うべきです。市民の健康づくりは、多くの市民に普及させるため草の根運動が必要です。
11	2029年(6 年)の長いスパンである為、想像力が及ばない状況ですが、あらゆる角度からの取り組みは大切と考えます。
12	施策が沢山書かれていて具体性があると思いますが、目玉が欲しいなあと感じました。
13	目標値が掲載されている点は、いいと思うが、例えば、ライザップが急速に伸びたような、魅力的な対策があると、より望ましい。
14	豊田市外に住む人への観光補助する予算があるのなら、もっと市民への健康増進へ予算を回すべき。

⇒ 【意見②】に対する回答

- 健康に関する広報活動や情報発信を進めるとともに、誰もが参加しやすいイベント・講座・教室等を実施していきます。
- 健康づくりの取組については、市役所関係課、地域、ボランティア、民間事業者等、健康分野に限らず、様々な分野と連携することで、健康づくりに関心が無い市民でも自ら関わっていけるような取組を検討していきます。
- 重点取組 3「新たなつながりの創出による健康づくりの推進」の具体的な取組の内容を修正しました。

【意見③】市民への周知・啓発 14 件

No.	内容
1	5 ページの主な取組が書かれていますが、はじめて知る活動もあり、内容を詳しく知る機会がほしい(広報などでわかりやすく)。案を作っても、詳しくない人はよくわからないままで何も変わらないと思う。いろんな活動はありますが、知ったら変わる人、救われる人がいると思うので、よろしくお願いします。
2	これは、誰が読む資料なのでしょう？市民が読む資料でしょうか？広報に入ったりする資料なのでしょう？その辺がよく分かりませんでした。もし、そうであるならば、もう少し、読みやすいように変えた方が良くかと思いました。
3	5ページ目の内容が6ページ以降にうまく繋がってなく、分かりにくい。
4	アプリ等知らない取組が色々あるなと思いました。知らなくて活用していない物が多々有ると感じます。
5	どの様に市民に告知していくのか、各市民の健康に対する意識向上へのきっかけとしてどのようなことがあるのか・どこで何をやっているのか知らない方も多いのではないかと感じます。
6	市として多くのことを取り組んでいて良いと思いましたが、実際に利用している人がどれだけのいるのか疑問でした。多くの人に情報を周知すると同時に利用しやすいようになるといいと思いました。
7	施策メニューなど、具体的に知る機会が少ないと感じています。
8	このようなプランがあることを知りませんでした。広報とよたなどでもっと周知して欲しいです。
9	カタカナ語が多くて、分かったような分からない点がある。「アウトリーチ」、「健康づくりの場へのコーディネーター」、「ゲートキーパー」、「地域資源マップ」……
10	資料で様々な取り組みが羅列表記されていますが、これまで馴染みのない取り組みばかりで、市民に活動が浸透していないように思われます。トヨタ健保の取り組みは、案内も目につきやすく、家族で取り組みやすいようになっているので、参考になさるとよいと思います。
11	健康作りのアプリがあるとは知らなかった。もっと広報活動をすると思う。
12	こんなに色々プランがあると知らなかった。折角なのでもっと周知させた方がいいと思う。
13	出来上がった計画の周知啓発や、この計画に基づいた取り組みを、いかに展開していくかが重要かと思っています。
14	食品添加物、小麦(グルテン)、トランス脂肪酸、植物油、砂糖(甘味)の摂取を減らすことで、ガンが減る臨床データがある。生活習慣として、安全な食品を選び、安全な食べ方ができるように伝える。

⇒ 【意見③】に対する回答

- ・ 広報とよたをはじめとした様々な媒体を活用し、健康に関する正しい知識、健康づくりに関する取組等について、市民に対する周知啓発を図っていきます。また、本計画の周知を図るため、計画の要点をまとめた概要版を作成していきます。
- ・ 計画のスローガン(健康づくりの合言葉)「とよた健康プラス 10(じゅう)」を設定し、計画の体系に位置付けて、広く市民への周知・啓発を進めていきます。

【意見④】身体活動・運動の推進 4 件

No.	内容
1	毎日汗が出るまで体を動かす習慣を付ける事を推奨する
2	高齢者の健康寿命を延ばすためには、動けるうちにデーサービスなどで体を動かす機会を作る方がいいと思います。積極的に歩いたり、ゲートボールなどを行っている人もいますが、動けなくなると寝たきりになってしまうので、どのようなことができるかが課題だと思います。

3	コロナがはやったところ、近所の広場で遊ぶ子供が増えました。以前はあまり見かけなかったのに、と思ったことがあります。見たところ、スポーツをやりたいようで、サッカーなどをやっていたようです。大人があれこれ言わなくても、体を動かしたい子はできるところへ行く。大人は子供が気軽にスポーツなどをできるように考えてやらなければならない。安全にも配慮があるので、気を配ることはあるでしょうけれど、環境整備は重要です。大人は自分のことは自分で考えて、できることをすればいいけれど、子供のことは大人が考えてやらなければならないと思います。
4	運動する場所を広げる。スタジアムみたいなところに、無料ジムを作る。公園などにも、健康器具をつくる。

⇒【意見④】に対する回答

- ・ 運動に関するイベント・教室等を開催するなど、運動できる環境を整備するとともに、各地域で行われている健康に関するイベント・教室等の情報についての発信もしていきます。

【意見⑤】こころの健康づくりの推進 7件

No.	内容
1	自殺者が多い事に驚きました。
2	病は気からと言われていています。高齢者にメンタルが良くない人がかなりの数いる様な気がします。高齢者のメンタルを防ぐ対策も考慮して頂ければと思う。
3	自殺死亡率の低下を目標に掲げるほど自殺者数が多いということを初めて知った。
4	病は気からというように、まずは、精神、心の状態を整える事が大事であると思います。ここに重点を置いたプランにもう少しシフトした方がいいと思います。
5	内容については、知識がないのであまりよく分からないのですが、事業をする際には、対象を明確にする必要があると思っています。 例えば、ゲートキーパーの役割って何？どういった所にゲートキーパーがいればよいのかを考えた時、「社会福祉協議会等の相談窓口に対する研修を実施する。」とありますが、芸能人が自殺すると、ニュースキャスターなどが一人で悩まず相談してくださいなんて言っているのに、自殺する人って相談できない人が多いのではないかと思いますので、もっと悩みを抱えている人の身近な民間企業の管理職や学校の先生を対象にしても良いのかなと思いました。
6	自殺は様々な原因が裏にあると思われるため、難しいとは思いますが、市役所のさまざまな部署が対策に取り組んでほしい。
7	「生きる目的」と「生きがい」を教える。戦前まであった公教育での「修身」のように、誰もが産まれてきた意味と歴史を学べる機会を作る。具体的な例としては、日本の偉人伝を伝え、日本がどのように頑張ってきたか本当の歴史を伝えて、感謝する心とやる気、自己肯定感を育てることが大切。対処療法とともに行って頂きたい。また、学校の授業になじめない子どもや不登校の子ども達、または引きこもってしまうなどの成人をすぐに向精神薬の投与処置をする医療機関へは、繋げない。麻薬と同じ成分である薬を投与され、逆に、自死へと向かう結果をまねく危険がある。 (製薬会社の注意事項に明記されている)

⇒【意見⑤】に対する回答

- ・ こころの健康づくりに関する正しい知識やストレス対処方法等について普及啓発を行うとともに、相談窓口の情報発信を進めていきます。
- ・ 自殺の危険を示すサインに気づき、声をかけ、話を聴き、必要に応じて専門家につなぎ、見守る「ゲートキーパー」の養成研修を様々な場面で実施していきます。
- ・ 重点取組 4「多様な支え合いによる生きることの包括的支援の推進」の内容を修正しました。

【意見⑥】栄養・食生活の改善、食育の推進 3 件

No.	内容
1	具体的に健康の底上げに繋がる気があまりしません。愛知は野菜の消費量が少ないようですが、野菜が嫌いなのか、外出時含めて野菜が高価で買い控えているのか、野菜の必要性を感じていないのかにより、対策も変わってくるのではと思います。
2	小学生の子どもが夏休みのラジオ体操でたべまの体操と合わせて栄養のお話を聞かせてもらえたようで、家でも主菜がどれで…といったことに興味を持ってくれるようになりました。
3	楽しく食べて、こころも身体も健康になるよう、様々な取組を進めてほしい。

⇒ 【意見⑥】に対する回答

- ・ 市役所関係課、関係機関等と連携しながら、「食育月間(6 月)」や「野菜の日(8 月 31 日)」などを活用しながら、野菜摂取を含めた食に関する啓発活動を進めていきます。

【意見⑦】飲酒・喫煙・薬物乱用等に関する啓発の推進 2 件

No.	内容
1	薬物依存症は「強すぎる快楽」のみによって引き起こされるわけではないと近年では考えられていると書籍で読みました（危険薬物を一回経験しただけで依存症になる人はあまりいない）。薬物乱用防止策として「ダメ。ゼッタイ。」という文脈で語るより、薬物依存の根本にある「なんらかの苦痛」との向き合い方を考えていくべきだと思いました。
2	喫煙者本人の健康は重要ですが、深刻なのは喫煙者がタバコを吸うことによる周りの人への害を喫煙者本人が意識していないことが多い、ということです。「自分は大丈夫」ではなく「周りの人の健康に害を与えている」という意識を持たせるための活動を実施してほしいと強く願います。このような禁煙活動を進めるうえでありがたいのは、活動すべき側に喫煙者がいて、活動に圧力をかけて阻止することです。豊田市はどうでしょうか。

⇒ 【意見⑦】に対する回答

- ・ 飲酒・喫煙・危険薬物等に関する正しい知識の理解促進を図るとともに、依存症に関する専門医療機関や自助グループを掲載した情報誌を作成・配布し、専門機関へつなげる取組を進めていきます。

【意見⑧】地域等との連携 3 件

No.	内容
1	豊田市は、学校や地域ぐるみの健康作りの企画があるので、親子で健康や運動を意識しやすくして良いと思います。大学や企業のサポートを受けながら、子供がスポーツを体験したり、興味を持ってくれるような企画が継続してあると嬉しいです。
2	中学校区ごとにあるスポーツクラブだけでなく、市内にある民間のスポーツクラブやジムとも連携できるプランを考えてほしいと思います。
3	わくわく事業(健康づくり関連事業)は良いと思います、交流館等で行われる ヨガ、ダンス等は月謝など必要となるので、指導者への補助金支給等で無料、安価になれば……

⇒ 【意見⑧】に対する回答

- ・ 自治区、ボランティア、民間事業者等と連携し、課題やニーズ等を把握しながら、健康に関する様々な取組を進めていきます。
- ・ 重点取組 3「新たなつながりの創出による健康づくりの推進」の具体的な取組の内容を修正しました。

【意見⑨】支援機関等との連携 3 件

No.	内容
1	豊田市健康づくり運動プラン(第四次)素案の中に、学校や会社など社会に出られていない家などにこもった若者の健康に関する事が触れられておらず、若年性成人病等が懸念されます。健診などを受ける機会も無いので勤めていれば、定期健診が義務化されているが、そうしたシステムから漏れた人にも目を向けて頂きたい。40歳以上になれば、節目年齢で市の補助で健診等の機会が有るので、対象年齢を引き下げても
2	自殺対策とあったが、心のケア中心で根本的な解決にはなっていないとも感じる。ケア面も必要だが、直接的に原因を分析して、その対策も講じるべきではないか？少なくともそこが明確になっていないとどこまでいっても後手後手にしかならないのでは
3	自殺対策ならどんな理由で自殺をするのか、悩みや不安を少しでも取り除くことが必要ですし、うつ病などの精神的な病気を持つ人に対する援助が必要だと思います。若者も高齢者も経済的な問題を抱えている場合もあります。

⇒ 【意見⑨】に対する回答

- ・ 自殺の背景には、精神疾患、過労、生活困窮、育児・介護疲れ、いじめ、孤独・孤立等、様々な社会的な要因があることから、様々な支援機関等との連携により、本人への支援を行っていきます。

【意見⑩】イベント・講座等の開催 6 件

No.	内容
1	参加型で健康づくりができる機会が増えると嬉しいです。
2	イベントを身近な地域ごとで参加
3	もっと市民が参加できる講座があればなお良い。
4	健康教室やスポーツ教室も、一部の人だけでなく多くの市民が利用出来るよう、定員や回数など増やすとよい。
5	健康作りに興味のない人や忙しい人でも参加しやすい工夫をしたほうが良い。
6	近年は、地域活動に参加する高齢者も少なくなっていることから、参加したいと思える活動を多く作ってほしい。また、参加のハードルを下げるような取組も考えてほしい。

⇒ 【意見⑩】に対する回答

- ・ 誰もが参加しやすいイベント・講座・教室等を開催するとともに、民間を事業者が開催するものを含めて、各地域で行われている健康に関するイベント・講座・教室等の情報発信を行っていきます。

【意見⑪】ICT の活用 5 件

No.	内容
1	ICT の活用レベルが弱い印象を受けました。市内の大きな病院では健康診断がインターネットで完結できず、電話と FAX で予約を取らなければならないので、改善してほしい。健康に関するイベントは出来るだけ開催状況をオープンにして、ネットで気軽に申し込みができるようにすると、若い年代の参加率も上がるのではないのでしょうか。
2	オンライン講座は、いいと思います。
3	動画等を活用したサイトを作ってみては？
4	「健康アプリを活用した健康づくり」に興味があります。アプリを通じてポイントがもらえるとか、地元のお店、飲食店で使えるなど、うれしいことやお得なことがあると参加しやすいと思います。

5	コロナ禍から始まったのかもしれないがオンラインの講座は良いと思う。できれば Zoom などの決まった時間での開催で質疑応答ができるタイプが何回か開催されるといいと思う。意外といつでも受講できる Youtube は見ないので。
---	--

⇒ 【意見⑪】に対する回答

- ・ オンライン講座の開催、動画の配信、健康アプリの活用、健康に関する社会資源の把握・情報発信等、ICTを活用した健康づくりの取組を進めていきます。

【意見⑫】特典・インセンティブの付与 4 件

No.	内容
1	活動促進 ・参加者へのポイント付与等は出来ませんか？(例)数年前シルバー事業のリサイクルステーション勤務をしていた時、まだペットボトルの自動つぶし機が設置されていて、利用すると個数に応じてエコポイントが付与されていました、いつも親子連れで行列が出来るほどでした。
2	健康づくり、それは身体心が癒される活動に参加した人は、もっとSDGsポイントを差し上げてはいかがでしょうか？
3	強制力のない活動は、あまり効果がないと思う。たとえば、極端ではあるが生活習慣病による医療費は 7 割負担にすれば、みんなが気を使って生活すると思う。もしくは逆に定期健診での健康維持者には、褒賞を与えるなどするといったのかもしれない。
4	ポイントがもらえるイベントがあるとよい。

⇒ 【意見⑫】に対する回答

- ・ 本市では、健康アプリ「あいち健康プラス」を活用し、健康づくりの取組実施者や健診受診者等を対象に、SDGs ポイントと交換できるマイレージを付与する「とよた健康マイレージ事業」を実施しています。
- ・ 引き続き、当該事業を継続するとともに、こうした特典やインセンティブ付与の見直しについて検討を進めていきます。

【意見⑬】年代別の健康づくり 5 件

No.	内容
1	コロナ感染が5類という新ステージへの移行になり、色々な規制も解除され、日常が戻りつつある。もうすぐ団塊の世代がすべて後期高齢者になり、その先には市民の 1/4 が高齢者という時代が来る。市には高齢者対策として 1.認知症予防(健康教室、趣味の集い)2.一人暮らしの方への見守りシステムなど、積極的に取り組んで欲しい。
2	中高年の基礎体力維持・向上への啓発(将来の介護予防)
3	民間事業者や社会福祉協議会による啓発は良いと思う。民生委員や地域の人というのは近すぎて相談することに躊躇する。若い年代の人が「個、プライバシー」を重く見る傾向が強まっていると感じる。年代によりアプローチを変えることも考えたほうが良いと思う。
4	若者向きの対策と高齢者向きの対策は違ってくると思います。
5	若い世代へのアプローチは意識が低いと思われるため、継続的な働きかけを進めていくべき。

⇒ 【意見⑬】に対する回答

- ・ 乳幼児期・小中学生やその保護者、大学生、働く世代、高齢者等、各世代に応じた取組・アプローチ方法についての検討を進めていきます。

【意見⑭】その他(感想等) 29 件

No.	内容
1	よくまとめられていると思います。
2	様々な取り組みを期待しております
3	基本理念「まちぐるみ 心とからだの 健康づくり ～元気な未来 ずっとキラキラ～」は素晴らしいです！ 私自身は「自身と家族の生活基盤を守る！」が理念です。
4	心身ともに健康を保つように色々な取組を検討されていてよいと思います。
5	よかったですと思います
6	各年代に合わせた取り組みで、手厚いと思いました。
7	色々な機関と協力し合うのはとても素晴らしいと思います
8	街全体で健康に取り組むのは素晴らしいと思う。
9	色んな年齢に向けて計画されているのが良いと思います。
10	今の社会に求められる健康という概念が網羅されていて良い。
11	心身共に健康で過ごせるように一人一人が意識できるようになってくれると思います。
12	関心を高める、取組を持続する、輪を広げるという基本目標の元、さまざまな幅広い取り組みを掲げられており、とてもいいと思いました。
13	ぜひ、いろんな人が興味を抱き、参加したくなる取り組みを実現させてください。
14	計画がいくつもあって市民にとっては分かりづらいので、3つの計画を1つにまとめることは非常に良いと思う。
15	健康づくりは人が生きる上で非常に大切なことだと思うので、計画を基にがんばって進めてほしい。
16	子どもから高齢者までを対象に策定されており、内容的には良いと思います。計画に基づいた、今後の実践に期待しています。
17	市の検診に歯科検診同様に眼科検診も加えてほしい。
18	下記内容が含まれるとさらに良い。地域の大型病院と連携した健康の疫学的調査の実施。感染症の状況をリアルタイムに発信できるシステムの構築
19	能書きは結構だと思います。
20	今年春先からプールの利用で 70 歳以上と高校生までの無料化は大変ありがたく思っています
21	特にありません。
22	特にありません。
23	特にありません。
24	子供たちの心身の健康を謳うのであれば教職員の意識や質の改善が急務であると考え。昔から閉鎖的空間である学校内では社会的に罪に問われてもおかしくないような、常識では考えられないような、様々な“異常行為”が日常的に行われている。それを自治体、教育委員会は揉み消したり知らぬ存ぜぬを通すのではなく正しく把握し正しく迅速に対処、処罰していくべきである。
25	私は健康づくりや運動が好きなのでチャンスがあれば参加したいし、子供達にも参加させたいです。主人は上記に書いたタイプの、豊田市の取り組みにも自主的な健康づくりに関心が全くない人なので、どんな形でアピールしたり勧めても参加しないと思います。
26	2～3ページの国の動きにある3つの項目がすべて「国は、」で始まっていること。4～5ページの愛知県の動きにある3つの項目がすべて「愛知県では、」で始まっていること。国の動きについての記述なので、主語は国であることが分かりますし、3回続くと読んでいくとよいですね。愛知県の動きについても同様に感じました。 2ページの(1)にある「平成 12 年より」は「平成 12 年から」の方が一般的ですかね。 6 ページの合計特殊出生率の見出しの前に(2)とありますが、(1)人口に対する(2)？

	ページ下部にも(2)平均寿命がありますが... また、「合計特殊出生率は、2017年の1.65をピークに…」とあります。どの期間のことを言っているのか分かりませんが、昔は2を超えている年もあったはずなので、ピークにという言い方は ??? です。
27	予防接種健康被害救済制度の全ワクチン認定数で、過去45年で3522件のところ、新型コロナワクチン接種のみで、たった2年半で4098件認定。まだ4000件以上の方が審議すらされていない異常な状況。さらに9月から始まるXBB対応ワクチン接種は、体内の免疫系を傷つけ、より大きな危険性をはらんでいるとされる。市民の命と健康を守るために、摂取するかどうかの正しい判断材料の提示をして頂きたい。
28	施策メニューに健診、保健指導の推進とありましたが実際に健診を受けてみると結果が大雑把だったり、受きたい項目が無かったりする。
29	認知症の早期発見のため脳ドックの助成の実施

⇒ 【意見⑭】に対する回答

- ・ ご意見ありがとうございました。

2 生涯にわたって健康で過ごすために、関心の高いものは次のうちどれですか？

(E モニターのみ 選択形式 3 つまで選択可) n=175

選択肢	件数
運動・身体活動	138
栄養・食生活	129
休養(睡眠)・こころの健康	108
健(検)診の受診	55
歯・口の健康	43
タバコの有害性	5
適切な飲酒	4

3 健康づくりに関する情報を集めるためによく利用している媒体は次のうちどれですか？

(E モニターのみ 選択形式 3 つまで選択可) n=175

選択肢	件数
インターネット	110
テレビ	74
新聞	59
広報とよた	42
家族・友人の集まり	33
書籍	24
SNS	24
講演会・研修	15
雑誌	14
折込チラシ	10
ラジオ	5
地域の掲示板	4
地域の集まり	3
電車やバスの掲示物	2

4 市民の健康向上のために市はどのようなことに取り組むべきですか？

(E モニターのみ 自由記述)

番号	選択肢	件数
①	身体活動・運動の推進	45
②	健(検)診・保健指導の推進	21
③	市民への周知・啓発	19
④	イベント・講座等の開催	18
⑤	特典・インセンティブの付与	8
⑥	地域等との連携	7
⑦	ICT の活用	7
⑧	栄養・食生活の改善、食育の推進	5
⑨	こころの健康づくりの推進	4
⑩	歯・口の健康づくりの推進	3
⑪	飲酒・喫煙・薬物乱用等に関する啓発の推進	1
⑫	その他	21
合計		159

【意見①】健(検)診・保健指導の推進 21 件

No.	内容
1	特定健診の受診率のアップに注力すべし。2018年の受診率は 36.9%、その後のコロナ感染拡大による受診手控えと云うことを考えれば、現状、大きく改善しているとは思えない。予防医学の第 1 歩というべき、健診の受診率アップは喫緊の課題である。
2	市の補助付の定期健診
3	健康診断を誰もが受けやすいような取り組み(料金、助成、受診の機会、検診後のフォロー)
4	健康診断費用の全額補助(女性特有の健診含む)
5	早期発見のための検査の費用一部補助(PET 健診、N-nose など)
6	住民健診や予防接種の助成金
7	定期健診の増進
8	無料健診の実施
9	健康診断の推奨
10	無料の健康診断の充実
11	検診の充実。検診費用の補助(もちろん収入によつての差があっても良いと思います)。
12	今のままでいい。市から送られるがん健診とか安く、受けさせてもらっています。
13	健康診断の受診補助はありがたく活用させていただいています。
14	健康診断の質向上
15	検診
16	無料健康診断の充実
17	仕事をしているので基本会社での健康診断をしているが、育休中は市のレディース検診を安く受けられてよかった。ちゃんと広報を読んでいたり、市からの検診チケットを活用していれば最低限のところは十分だと思う。
18	健康診断の充実
19	定期検診の充実。二年に一度のものを、一年単位にする。
20	無料検診を増やす。
21	定期健診等を面倒だと思う人も周りにいるので、ぜひ全員受診してほしいです。手軽に予約が取れるようなサイトがあると気軽に申し込めると思います。

【意見②】身体活動・運動の推進 45 件

No.	内容
1	歩く人だけのための道を整備したり, 自転車専用道を整備するなど, 車を気にせずに歩いたりできる道が欲しい。
2	使われていない公園を集約し、使用可能な健康器具の置かれた大型の公園を整備する。
3	予約なしで安く利用できる施設があるといい。
4	健康増進施設(アスレックス、イベント、プールなど)の拡充と当該施設を利用した場合の補助
5	毎年行われる豊田マラソン大会の市民無償化
6	暑い時期に気軽に運動出来る施設の提供、子どもが運動出来る機会の提供
7	近くにスカイホールの様な安く利用出来るジムが有ると嬉しいです。
8	中学校区の既設のウォーキングマップを利用した、イベント開催(ウォーキング大会)。校区内では交流館祭で毎年募っているが、他の校区のコースも歩くきっかけとなる。
9	ランニングする人やウォーキングする人が多いので、木陰のある道や歩道を整備してほしい。買い物などの生活のついでに歩くのも健康にいいと思うが、暑すぎて歩けない。春から秋にかけて暑い日が多く(一年の内半分は)、暑くて昼間出歩くには辛い道が多い。例えば、市駅からスタジアムや美術館へ行く通りや、トヨタ自動車本社を通る 248 号線沿いその道や、学校周辺の道路、スーパーなどのある通りを涼しくしてほしい。この夏、韓国へ行ったが、日本よりも気温は低く涼しく感じるが、温暖化でまちが暑くなっているの、街路樹をたくさん植えているそうです。ソウルや地方のまちも、街路樹が育ち、木陰のある道が日本よりも多く感じました。街路樹のお陰もあり夏でも歩いて観光しやすかったです。交差点には日除けの parasol を設置してある場所も多く見かけました。
10	気軽に安価・無料で使用できる健康・体力確保できる施設を各居住地気に合わせて設置。
11	各市民の年齢・体調に合わせた適切な運動方法の指示。
12	高速道路の高架下をウォーキング用路にし、天気の良い日も歩けるようにしてほしい。雨降りに傘をさしあるいは濡れながらも歩いているお年寄りを多々見受ける。その際ネットフェンスの中を歩けばといつも思う。
13	お年寄りにも負担が少ない動きの太極拳やヨガなどを安く体験出来る教室をもう少し多く開催する。金額も負担にならないように。また働いている人は平日よりも休みの日にそういう教室を沢山開催してくれると嬉しい。
14	子供と一緒に遊んだりして、体を動かすのはいいのではないかと。核家族が多いのでなかなか子供と一緒に体を動かす機会もない方も多いと思うので、遊んでいるのを見るだけでも元気になれるそうだから
15	高齢者向けに太極拳などの運動を推進する
16	(1)市が主催の高齢者向けの健康教室の企画・運営・・・参加者には、chiica のとよた SDGs ポイント付与などの特典で、多くの参加者を募る。ラジオ体操の第1 & 第2で十分です。毎日、やる事がない高齢者には、外に出て社会活動らしきイベントに参加するだけでも健康向上に繋がる。
17	(2)市が主催の健康ウォーク・・・各公民館が主体で実施。例えば足助地域や松平郷の散歩などを毎月 1 回、定期的に企画。参加者には、何らかの特典、SDGs ポイントなどを付与する。
18	健康器械を増やして、運動できる場所を増加します
19	体力測定が気軽にできる場所があると嬉しいです。
20	市民が気軽に参加できる健康増進を目的としたイベント(ウォーキング、マラソン大会など)を企画する。参加賞や景品を魅力的なものにすれば、参加する人も増え、これをきっかけに健康意識を高めることができるのではないかと思います。
21	身近で出来る各年齢別の健康プログラム
22	誰でも気軽に参加できる運動会があると良いですね。

23	近くでスポーツ教室に通えること
24	市民運動会みたいなのを開催したら楽しそうだと
25	健康につながる施設の利用料を低額にする。
26	ウォーキングなど
27	ハイキングコースやジョギングコースなどを作成して周知するなど運動するきっかけづくりをする
28	公園などで集まって軽めの運動をするイベントを月1くらいで行う。
29	小学生に関してですが、部活もなく、温暖化の影響で外で遊ぶこともできず、運動不足が懸念されます。すぐ隣の部活がある市と比べると健康や精神面で差が出来てくると思います。もっと考慮して部活に代わるものを作ってほしい。
30	ウォーキングイベントなどで子供と楽しめて親達も巻き込んで健康づくりになるものを計画して欲しい。
31	自転車に乗る人が多いので、安全に乗れるように道路の整備をしてほしい。気軽の体を動かせる施設や場所があるといいです。
32	定期的な運動プログラムと
33	豊田市も高齢化が進んでいるので若者だけでなく高齢者のための健康向上に取り組むことが必要だと思います。そうすれば健康保険や介護保険を使うことなく元気で長生きできると思います。適度な運動や快適な睡眠は大切です。そして口腔ケアの重要性を知り半年に1回歯科で定期検診をしています。
34	体育館や運動施設をもっとたくさん整備し利用料金も安く使いやすいものにする。居住地からかなり遠いと利用がためらわれるので、市街地に運動施設を増やすとよい。
35	ウォーキングやランニングに適した遊歩道を整備するとよい。豊田市は車や大型トラックが多く、移動も車を利用するため歩いている人が少ないので、結果として運動不足な人が多い。
36	市で施設を考えて頂けると利用しやすいです
37	公共のジムやプールなどの運動施設をよりたくさん利用してもらうために、家からでも混雑情報が確認できたり、プールでは今はスマートウィッチが使えないところが多いですが、使用可能にするとか、会員登録したら自分の利用履歴を見ることができると運動を頑張っているのが目に見えるにので、長く続けることができると思う
38	気軽に参加できるスポーツイベント等を増やして欲しい。
39	また、その他にはスカイホールにあるジムをもっと増やすとか、雨天時にもジョギングができるような施設を増やすなどもいいなと思います。よろしくお願いします。
40	運動施設の充実
41	王滝渓谷や猿投山、鞍ヶ池などの公園の整備をしていただき利用しやすいように保っていただければと思っています。プールや各運動施設の整備、利用時間の融通等もお願いしたいです。暑い時、雨の時、ウォーキングができる場所が欲しいですね。
42	運動の場を広げる。
43	運動ができる公共の場を提供したり、講座を開いたり
44	フレイル検診を広めて多くの人に受診してもらい、継続してもらう。受診料を出来れば無料にしてほしい。
45	運動に関する講座開催

【意見③】こころの健康づくりの推進 4件

No.	内容
1	また、今も24時間体制で心やからだについて問い合わせ窓口がとよたにもありますが、心の問題でも話をただ聞いて欲しい場合と、心理的であったり、何か解決策が欲しい場合がある為、メールでも構わないのでもっと専門的な知識を持った心理カウンセラーがいると良い。解決策

	が欲しくても、問い合わせる場所がなかったり、たらい回しにあったりと、今までに 2 回ほどあります。
2	普段は市に対してこれをやって欲しいとまで思うことはありませんが、産後のサポートはもう少しあっても良いのかと思いました。 精神的に参ってしまうと自ら SOS を出しにくく、外出も大変、でもそのままだともっと塞ぎ込んでしまうといった悪循環になってしまいそう。またもし虐待があった場合、未就園児の健康状態を把握するのはとても難しいような気がします。 具体的には、市の施設(子育て支援センターや交流館等)や小児科に ID カードのようなもののかざせるようにして全く公共施設や病院の利用がない方には自動でメール案内で近況伺いを送付して、それにも応答がない場合はサポートをする等、何かもう少し介入があっても良いのではと思います。
3	また、体の健康はもとより、心の健康も大変重要だと感じます。あらゆる悩み事を気軽に専門家に相談できる場所があるといいです。
4	心の健康も大切だと思います。

【意見④】栄養・食生活の改善、食育の推進 5 件

No.	内容
1	子どもに食育をしてほしい。小さい頃に当たり前のように学んで、そのベースが大人になっても影響すると思います。オーガニック給食にしてほしい。
2	新生児の両親や学校に通う子供たちへの食育講座などはとても有益だと思う。
3	最近、物価高で買い控えをし、栄養不足になるお年寄りも多いとニュースで見たので、広報などで注意喚起できたらいいと感じた。
4	どのような食生活をするべきかの勉強会。健康のための習慣について考える説明会。
5	栄養に関する講座開催

【意見⑤】歯・口の健康づくりの推進 3 件

No.	内容
1	歯の無料健診をお願い致します。
2	歯科検診の補助制度の充実。
3	口腔ケアの重要性を知り半年に 1 回歯科で定期検診をしています。

【意見⑥】飲酒・喫煙・薬物乱用等に関する啓発の推進 1 件

No.	内容
1	市内全域で路上喫煙や車の窓を開けての喫煙を完全禁止にする(いまだに受動喫煙の機会が多く不快に感じる、罰金強化)

【意見⑦】地域等との連携 7 件

No.	内容
1	私は 70 代ですので、家から出る事が健康の第一歩だと考えております。大変難しいと思いますが、子どもも親も年寄りも皆んな一緒に遊べる場所があると良いように思います。子どもたちを見るだけで、元気が貰えますから！私は同居しておりますので、孫たちとの関係が持てますが、お年寄りだけで住んおられる方々からいつも羨ましいと言われる事が多く有ります。 広報誌などで年齢制限の企画が多く有りますが、保護者だけではなく、見学可能なものがあれば見てみたい！と思う事が有ります。是非ご検討くださいますよう宜しくお願い致します。

2	ラジオ体操やおいでん音頭等を全市民が出来るようにしておくが良いと思います。幼児から高齢者迄地域毎に繋がる様に情報を共有してイベントをこども園と自治区と老人会でバラバラでなく同時に実施することが必要です、
3	現在、色々な場所で、色々な活動が行われている様に思います。朝のラジオ体操、ウォーキング、白浜公園での各種大会、地域では健康づくり部会…など。更に、健康に関する講習会などもあるようですね。もう十分かなと思います。しいて上げれば朝の散歩をされている方達がおられます。その人達を更に増やす為に豊田市〇〇散歩同好会 等を作り、市へ登録する、歩行距離を申告してもらい、累積で上位に記念品等をあげる
4	各病院が主催する健康に関する講話の支援、経費の半分以上を市が負担。テーマは、例えば、1, 生活習慣病の改善2, ガンの治療3, 带状疱疹の予防4, 足腰の運動 など
5	大きなスタジアムを使って、全員参加のマラソン大会や企業にアピールして、企業別のウォーキング大会、マラソン大会を企画しても面白いですね。そこに、お年寄り、小さい子供たち、シングルマザー、等のいろんな方を招いて交流を図る。町をあげてのウォーキング大会等全員が参加できる企画を考えてほしいと思います。
6	地元のお祭りなどの行事。面倒だと思うこともあるが、伝統を継承するだけでなく、地域のひとのコミュニケーションの場になる。盆踊りの準備片付けは体を動かす機会になる。
7	地域の医療機関と連携し、健康づくりへの取り組みに参加しやすい環境を作る、また取り組みの機会を設ける

【意見⑧】市民への周知・啓発 19 件

No.	内容
1	健康診断や広報紙などでの情報提供があると良いと思います。
2	豊田市内でどのような場所で、どのような運動が出来るのかを事例を交えて発信をする。その場所にちなんだグルメ情報など観光要素も交えて紹介すると行きたくなるかもしれません。
3	・インターネットでの情報発信、テレビ番組での情報発信
4	1, 実施状況の細かい情報の発信で、より多くの人々が目にできて・興味を持てて・参加したくなる内容として発信する。
5	2, 各区の伝達システムで、市民の一人ひとりが目に届くチラシ配布で情報を提供する。
6	特にコロナウイルス感染症については、関心が高いにもかかわらず流行の状況の情報提供の量が少ない。
7	信頼できる健康に関する情報発信(ネット上などでは情報があふれており、正しい情報かの見極めが難しい)
8	各世代に応じた健康向上の為の情報発信やデータベース
9	判りやすい、高齢者向けの情報提供。
10	1-健康づくりのテーマ 一覧表を作り出前案内をする。(既に実施しているかもしれませんが) 2-その一覧表を 定期的に地域活動グループに配る又はとよた広報に掲載
11	失敗談、成功談の体験発表の啓発活動の複数回実施。
12	健康はお金で買えない、自らの意識や活動によって得られる、健康を損なってしまうと、後悔しても遅い、自分のまわりの人も含めて、毎日の生活に大きな影響を及ぼすこと、を具体的にアピールして、市民一人ひとりの意識をかえる仕掛けがあるといいです。意識をかえないことには、どんな活動をしても参加しないと思うので。
13	健康の意識を高まる活動を行う
14	広報での定期発信
15	小中学生への健康啓発の充実
16	健康向上によるメリットをどんどんアナウンスするとか。

17	健康向上のメリットを市民にお知らせするのはいかがでしょうか。やらないといけないことは皆知っているとは思いますが、なかなか重い腰が上がらないのが実情だと思います。例えば、医療費と健康向上習慣の相関関係を知らせることで、健康なうちに健康づくりを習慣化していないと、将来、自身の医療費が増えてやりたいこともできず、薬漬けの毎日で負のスパイラルに陥るようなことを、実際の豊田市民のデータをもとに教えて上げれるといいなと思います。
18	啓蒙啓発、情報提供に尽きる。
19	健康関係催事情報発信を広報等の情報誌を使い全市民に浸透出来るようにすることが必要 掲載するのではなく単発の資料が理想、広報に折り込む等 情報不足がちな高齢者迄浸透させる事が懸命

【意見⑨】イベント・講座等の開催 18 件

No.	内容
1	親子で参加できる健康作りのイベントの企画は参加しやすいので楽しみにしています。高齢者はアプリの使用やネットでの申込みがネックになっているようなので、ネット以外でも申請ができたほうが良いです。
2	イベントを増やす。
3	年代別に楽しいイベントを企画してほしい(子連れ、高齢者中心のイベントが多い)
4	健康フェスタ 身体に関するイベントを開催 病院に行かなくても身近に健康雑学というか身体に関する事を学ぶ機会を！
5	健康に関するイベントなどを増やしていただきたいです。
6	イベント、公演、講習会の開催
7	無料で受けられる身体改善講座
8	気軽に参加できる健康に関する講座を開いてほしい。
9	気軽に参加できるイベント
10	健康づくりのイベントの開催
11	親子、年代を分けて、軽度から高難度など様々な健康に関するイベントを主催されては。ウォーキング、ハイキング、ランニング、体操やヨガ、ピラティスなどなど。そして、平日や休日などあらゆる時間で開催して、ニーズの高かった企画を継続して行う。
12	誰でも参加しやすい講座の開催
13	市民参加型のセミナー、講習会の開催※自分は大丈夫と思いがちなので、ただ聞くだけでなく、体験型、測定する機会を盛り込んだ内容にしていきたいです。
14	市民の健康醸成のための受け皿づくり(イベント、教室など)
15	無料で参加できるイベント
16	健康に関する講演会の開催
17	健康増進のイベントをやる。
18	広報とよたによく載っている体験イベントや講座が大変役立つと思います。そもそも広報とよたを読まない人は、新聞も読まないだろうし、そういう人は豊田市 HP やネット広告などでアピールしても市役所の活動に関心がない人が多いかと思うので、高額なイベントや広告を行っても参加者の大幅アップにはならないと思います。自主的に運動したり改善する取り組みをするのが面倒で、健康にあまり関心のない人もいますし。

【意見⑩】ICT の活用 7 件

No.	内容
1	あいち健康プラスをもっと活用すべき(豊田市民はチャレンジ以外でポイントが貯まらず、利用意欲が削がれる)

2	豊田市と連携した健康ポイントアプリ導入によって、インセンティブによる健康診断受診率の向上や運動の習慣化等に結び付ける。
3	高齢の方達は、歩いたり、身体を動かすことが大事だと思うので、歩く事でポイントが貯まれば良いと思う。様々な企業がアプリで歩数カウントしているが、そういうのではなく、病院近くや交流館、図書館などに行くとポイントが貯まるようにすれば、外に出る機会も増え、知識も広まり、人と会う機会も増え、楽しく出掛けれると思います。
4	マインリー(中電の地域情報配信アプリ)に歩数計機能を付け、歩数が一定以上いくとポイントが貰える。
5	アプリを利用した万歩計機能でポイントが貯まるサービスがあるといいと思います。
6	地域で開催のセミナーを実施し、映像 DATA を WEB などにて見えるようにして頂きたい。
7	オンラインで参加できるイベント

【意見⑪】インセンティブの付与 8 件

No.	内容
1	健康に関する活動(市民参加型の活動)は、SDGsカードのポイントと連動していると、より積極的な参加が期待できると思います。高齢者でも参加できるように、アプリ限定しないで、インターネットや紙での参加も可能なようにしてほしい。
2	積極的に検診を受けた人への chiiaca ポイントの付与など。
3	運動、睡眠、栄養の指針を提示し、達成した市民に報酬を与える。
4	強制力のない活動は、あまり効果がないと思う。たとえば、極端ではあるが生活習慣病による医療費は 7 割負担にすれば、みんなが気を使って生活すると思う。もしくは逆に定期健診での健康維持者には、褒賞を与えるなどするといったのかもしれない。
5	健康推進イベントはマイナポイントプレゼントがあれば嬉しいです。
6	心の健康のために習い事や地域イベント参加でもポイント付与されると嬉しいです。
7	イベントのご褒美にポイントとかではなく健康診断が無料で受けられるとか、骨密度が無料で測定してもらえる等があっても良いかも。
8	健康ポイントのようなものを作り、ゴミ袋などの景品と交換にする。

【意見⑫】その他 21 件

No.	内容
1	公立の医療機関の規模・内容を物理的に充実させること。
2	健康診断やその後の再検査などが全て同じ場所でできたらいいですね。いちいちまた予約とって、違う病院に行くのが面倒。中々いけなくて悪化して後悔ってのがあるから、そういう施設を作って欲しい。トヨタ自動車とか大きな企業は恵まれてるみたいですが…
3	子供の歯科矯正にも一部でも補助があると取り組みやすいと思います。
4	・体育館の使用ルールの改善(新しく活動する団体が入る余地が全くない、住んでいる地域に絞ってしか利用できない)
5	・公園の整備(トイレなどの汚れがひどく使いたくない場所も多数ある、防犯対策が不安)
6	生活苦が続いているためもっと助成金を出すべき(特に子育て世帯へ手厚くするべき、豊田市は他の市町村に比べて全く子育てしやすいとは思わない)
7	健康診断データ等を利用した疫学的調査。
8	下水に含まれるのウイルス量検査から、感染症の流行状況の把握し、情報提供量。
9	被害に合わない警察や相談窓口には連絡出来ず、被害に合いそうな前段階ではどこに相談しても、どうするのがより良いのかなどのアドバイスを貰う事ができない。被害にあってからでは、その後の人生において、健康な状態での生活は難しいと思う。子供であれば SNS の事件や高齢者であれば詐欺に関してなど、そういった講座がもっとあれば本当に良いと思います。

10	今回提示された「豊田市健康づくり運動プラン概要版」を拝見し是非進めて頂きたいと思います。内容は充実過ぎ・・・？総花的にならないように豊田市の独自性を打ち出し他県の見本になりたいものです。
11	フィットネスジムの負担補助。
12	子供のスポーツの習い事の補助
13	健康保険料や介護保険料は、仕事を引退し、収入が年金だけの高齢者には、驚くくらい高額です。この金額を減らすためには、市民の健康向上が、医療や介護費用の低減に繋がります。
14	お金の補助
15	ある程度の年代別グループにすれば参加しやすくなるでしょうね。
16	具体的な意見でなくて申し訳ないのですが、他の市で、市民の健康向上のための取り組みを成功させているところがあると思います。その市の取り組みを真似て(もちろん人口等や地形、産業等の違いがあるのでそっくりそのままは難しいと思いますが…)、取り組みばいいと思います。
17	歯科矯正、視力矯正も健康に関することなので子供だけでも無料化の対象にしてほしいです。
18	ジムの月額料金補助
19	車に頼らなくてもいい街づくり。買い物に行くにも、運動できる場所に行くにも車がないと不便。バス等を利用して、市内どこでも行けるようになれば自然と歩くようになり、健康につながるのではと思う
20	民間のジム
21	地域医療の質向上

5 スローガンについてご意見があればお聞かせください。(E モニターのみ 自由記述)

スローガン案① とよた健康プラス10

各分野で「プラス10」をキャッチフレーズとして、市民の健康づくりに関する行動変容を促進
また、市民一人ひとりが自分なりのプラス10健康宣言を行っていただき、市民の健康意識の向上を促進

例)野菜を「プラス10口分」多く食べよう。ウォーキングで「プラス10分」長く歩こう。
毎月の休肝日を「プラス10日」設定しよう。など

スローガン案② 誰もがみんな「(仮)健康アンバサダー」

健康講座や健康イベント等の参加者が、「(仮)健康アンバサダー」として身近な人へ健康に関する正しい知識を口コミで広げる活動

例)小学校で習った健康教育の内容を家族に伝えよう。
学生自身で健康課題の解決策を考案し、他学生や地域を対象に講座を実施しよう。
民間事業所が社員向けに実施している健康教室を、地域の人にも参加できるようにしよう。
など

番号	選択肢	件数
①	肯定的な意見	35
②	否定的な意見	20
③	その他(具体的な提案等)	18
合計		73

【意見①】肯定的な意見 35 件

No.	内容
1	とよた健康プラス10、やってみたいです。いつもやっているストレッチを 10 分多くやってみようかなと思いました。
2	なかなかいいスローガンだと思う。「プラス10」のキャンペーンとかあれば、参加してみたい。
3	「プラス10」というわかり易いスローガンで、具体的な 10 分長く歩く・・といったことを目標に掲げられるので良いと思います。
4	良いと思います
5	プラス 10 は良いと思います。
6	プラス 10 は分かりやすく良いと思います。
7	「プラス10」は、イイなと思いました。無理ない範囲で参加できるので。まずは参加して、やってみることで、プラス10以上の効果が期待できるのではないのでしょうか。
8	・取り組む個人の具体的な行動目標が良い、私は「とよた健康プラス10」が良い、但しわかり易くするなら『もうチョット頑張ってみるか?』のニュアンスを入れて「とよた健康チョットプラス10」が良い……
9	とよた健康プラス10活動良いと思います。自己申告になるかと思いますが、実施したら何か嬉しいこと・励みになることがあるとよいかと思います。
10	スローガンとしてはいいと思いますがこれらを実施するにあたり言葉だけにならない様にしたいですね。とよた健康プラス10・健康アンバサダー(大使?) すばらしい取り組みですから
11	とよた健康プラス 10 の方が、行動が伴うので分かりやすいと思います。
12	健康プラス 10 はキャッチーで分かりやすく良いと思う。目標を継続するためにどうしていくか、活動に繋がれると良いと思う
13	プラス 10。良いなと思いました。
14	わかりやすいと思います。
15	1はわかりやすくよい
16	とてもわかりやすくいいと思います。
17	良いと思います。後はこのスローガンをどのような形で展開するかが重要だと思います。見たときに「ふーん」で終わってしまうような気がします。「ちょっとやってみよう」と思わせる工夫があるといいですね。
18	簡潔で、よいと思います。
19	プラス 10 はわかりやすく良いと思う
20	各自が思い描くスローガン作成はとても良いと思います。
21	健康に関する正しい知識の講座があれば、受けてみたいと思った。アンバサダーは良いと思う。
22	スクワットを「プラス10回」がんばろう。咀嚼回数を「プラス10回」増やそう。「プラス10回」は、丁度良い回数ですね
23	とよた健康プラス10はいいと思う。
24	もっと短く、子供の気持ちも引き付ける言葉だいいと思います。
25	分かりやすいスローガンがいい。
26	各個人が勉強して、気づいて、行動を変えて、自分の周りの人を巻き込む、この繰り返しが大切なので、よいスローガンだと思います。

27	分かりやすくて良かった。無理なく続けられそう。
28	プラス 10 は取り組む内容によっては多いと思う。
29	アンバサダーの取組みが面白そうです
30	とても良いと思います。
31	とよた健康プラス10、やってみたいです。いつもやっているストレッチを 10 分多くやってみようかなと思いました。
32	なかなかいいスローガンだと思う。「プラス10」のキャンペーンとかあれば、参加してみたい。
33	「プラス10」というわかり易いスローガンで、具体的な 10 分長く歩く・・といったことを目標に掲げられるので良いと思います。
34	良いと思います
35	プラス 10 は良いと思います。

【意見②】否定的な意見 20 件

No.	内容
1	2については、意味が全く分からない。
2	何もかも英語にすれば良いというわけではない。アンバサダーと云ってもわかる人は少ない。
3	アンバサダーは、単語自体の意味が、あらゆる世代に分かるのかどうか気になります
4	無知な私は、アンバサダーの意味がわからない為、調べました。
5	スローガンをどう活用するのが、分かりにくい。
6	健康アンバサダーは情報を伝え合う中で、正しい情報がきちんとリレー出来るかが少し心配です。
7	1 つ目の方は、いまいちピンと来ない。これを見て何かをより多く頑張ろうとは思わない。アプリで健康行動をするとポイントが貯まってお店や病院で使える等の旨みがあれば頑張ろうかなという気持ちになるかもしれない。
8	2 つ目の方は、子供が居る世帯には子供から親に話が伝わるかもしれないが、単身世帯には情報が伝わりづらいかなと思いました。 健康に興味のない人は自分から情報を拾いにいかないかなと思います。 民間事業者がというのは、近隣の住民にチラシ等でお知らせしてくれれば興味があれば参加したいかなと思うと思います。
9	カタカナの分かりにくいことばはなじみません。アバター等。みんなまとめて元気になろう、位の簡単な解りやすいスローガンが良いかと。
10	お年寄りにも認識してもらう為には、横文字(カタカナ)よりも和風の言葉にした方が分かりやすいかもしれません。アンバサダーの意味がわからない人が多いかも？
11	アンバサダーという言葉が、少しわかりにくいかなあと思いました。
12	健康アンバサダーという言い回しがちょっと分かりづらいので変えた方がいいかも、と思いました。
13	二つともあまり響かなかった。
14	ちょっと軽い感じがしました。かわいい感じなので、どこかの小さな健康イベントと変わらない感じがしました。もっと大きなプランなので、もう少し品の高いものの方が、このプランの想いのようなものが伝わると思います。
15	スローガンについても初めて目にしました。どのような人を対象にスローガンを作成したのかもよくわかりません。
16	2)「(仮)健康アンバサダー」カタカナ語はやめたい
17	もっとインパクトのあるスローガンでも良かった

18	スローガンには、インパクトがない
19	アンバサダーはみな知っている言葉かが心配。
20	スローガンやイベント名称は、あまり聞き馴染みのないカタカナや英語はやめた方がいいです。私達世代でも SDGs とかマニフェストとか話題になった時に、分からず調べたり拒否反応が出たので、高齢者はもっと苦手だしスマホで調べたりしないので、カッコよさや今時の…ではなく、子供から高齢者まで理解しやすい言葉がよいと思います。

【意見③】その他(具体的な提案等) 18 件

No.	内容
1	通勤で電車を使用していると自殺する人が多いように感じる。精神的な健康を訴えるスローガンがある良い。
2	スローガン募集を小学校にかけたりすると面白いのが出てきたり、認知もされやすくなると思いました。
3	市民募集で公募した方が良い。
4	ウォーキングで「プラス10分」長く歩こうとありますが、「10分速足で歩こう」を追加して頂きたい
5	特にありません。
6	「今日も明るく、元気よく豊田」
7	とよた健康プラス 10 は見た事がありました。
8	特にありません。
9	特になし。
10	2はアンバサダーもよいですが、自分が主体で自分に落とし込むような言葉があるといいなと思う。内容はわかりやすくてよいです
11	体の健康は心の健康というシンプルだが伝わるのが良い。
12	正しい運動・栄養・睡眠を実行する
13	Q3 と同じ
14	1)とよた健康プラス宣言 宣言があった方が良い
15	とよた健康プラス10、誰もがみんな「(仮)健康アンバサダー」どちらも興味を引くいいスローガンだと思います。ただ、上記の Q4 の「(仮)豊田市健康づくり運動プラン(第四次)概要版【素案】」との関係がよくわかりませんが、連携されているように思いませんが、絡めて取り組みを立案していただけるといいと思います。
16	通勤で電車を使用していると自殺する人が多いように感じる。精神的な健康を訴えるスローガンがある良い。
17	スローガン募集を小学校にかけたりすると面白いのが出てきたり、認知もされやすくなると思いました。
18	市民募集で公募した方が良い。